

受精卵移植技術により作出した優良種雄牛「光重ET」

農業研究センター 畜産研究所 生産技術開発部

研究のねらい

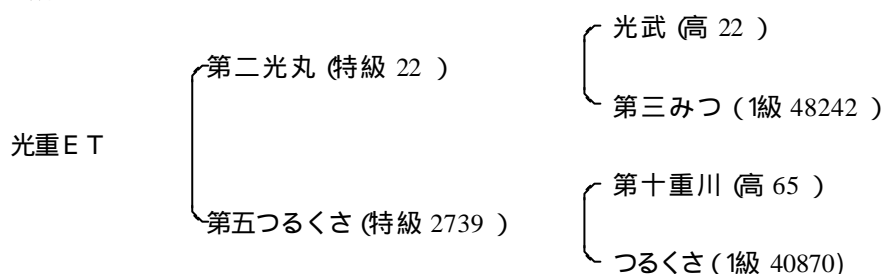
肉用牛の改良を促進し、生産物の品質向上と斉一化を図るには、遺伝的能力の優れた種雄牛を作出し、広域的に共用することが最も効果的である。そこで今回は短期間に多数の産子が得られる受精卵移植技術を応用し、精度の高い遺伝的能力の優れた種雄牛の作出を行った。

研究の成果

発育並びに肉質が優れた種雄牛「光重ET」を受精卵移植により作り出した。

1. 作出した種雄牛の概要

(1) 光重ETの血統



(2) 生年月日 昭和63年1月22日生まれ

(3) 生産者 阿蘇郡南小国町 森口安則

2. 成績の概要

(1) 直接検定

光重ETの直接検定成績は400日令補正体重528.4kg、1日当たりの増加体重1.55kg、1kg増体当たりTDN量3.89kgであった。

(2) 間接検定及びきょうだい検定成績

光重ETの産子及びきょうだい検定を用いた成績は終了時体重691.9kg、1日当たり増体重1.12kg、ロース芯面積46.3c㎡、BMS1.8であった。間接検定ときょうだい検定の差はほとんどみられなかった。

(3) フィールド検定成績

光重ETの産子でフィールド(民間肥育施設)における成績は終了時体重659kg、1日当たり増体重0.77kg、BMS1.5であった。枝肉等級の比率はA-4 44.4%、A-3 50.0%、A-2 5.6%で肉質等級3以上が94.4%であった。

(4) 全国でもトップレベルにある本県の受精卵移植技術を応用し、第1号として誕生した「光重ET」は県肉畜共進会でグランドチャンピオンとして高い能力が実証されたきょうだい牛に当たり、きょうだい及び後代検定で今回更に能力が確認された種雄牛です。

表 1 直接検定成績

D G	400日令 補正体重	1 kg増体当たり T D N量	粗飼料 取 率	体型 資質	総合判定
kg 1.55	kg 528.4	kg 3.89	% 18.6	81.6	93.5(A)

表 2 間接、きょうだい検定成績

開始体重	終了体重	D G	屠殺前 体 重	枝肉重量	ロース 芯面積	B M S	等 級
kg 323.4 ±23.7	kg 691.9 ±46.5	kg 1.124 ±0.12	kg 652.6 ±38.6	kg 424.0 ±31.5	cm ² 46.3 ±5.3	1.8 ±0.5	A-5 2頭 A-4 4 A-4 2 A-3 2 A-2 1



写真 光重 E T